

レジ袋の3R

竹村 駿人
増川 凱人
植村 広樹
桐山 綾子

発表の流れ

- 新聞記事
- レジ袋の環境問題
- レジ袋有料化の効果
 - 問題提起
 - 政策提言

新聞記事

レジ袋削減：無料レジ袋配布、11月から中止に 1枚5円で販売

県や県内の主要スーパーなどで構成するレジ袋削減検討会は11月からレジ袋の無料配布中止を決めた。レジ袋が必要な場合は一般的なサイズを1枚5円で販売する。県は「ごみを大幅に削減できる」と期待している。

レジ袋無料配布中止（有料化）に合意したのは県内に店舗を展開するイズミ、イトーヨーカ堂、山陽マルナカ、天満屋ストアなど19事業者。県は今後、コンビニエンスストアなどにも参加を促す。

レジ袋削減検討会は、これまで毎月10日を「ノーレジ袋デー」としてマイバッグ持参を呼びかけ、2月10日の県内平均バッグ持参率は28・5%。県は他県の例から無料配布中止で持参率が50%上昇すると見込んでいる。

県の推計で、レジ袋の県内消費は年間5億8200万枚（4714トン）。県は「マイバッグ持参率が8割になると、ごみの量と焼却時に発生する二酸化炭素が大幅に削減でき、環境保全が大幅に向上する」と説明している。【小園長治】

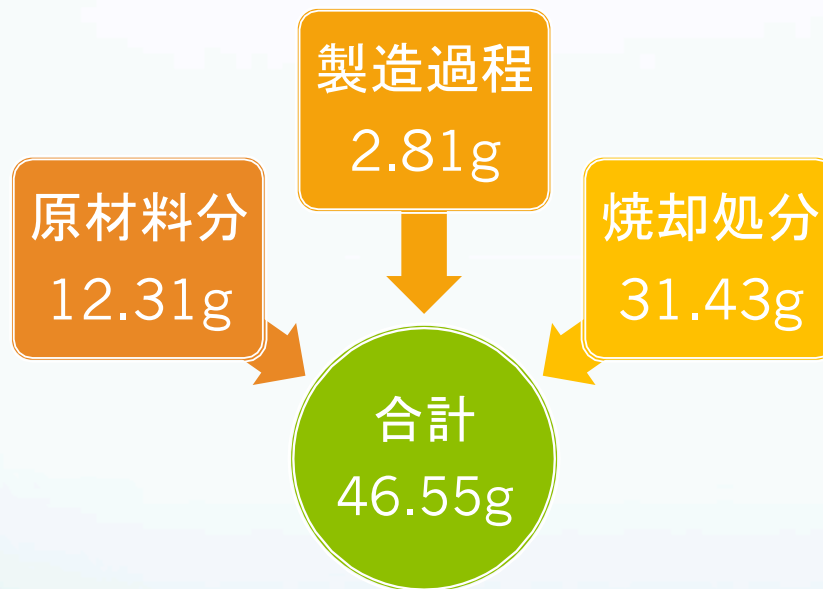
（毎日新聞 2012.05.10）

記事要約

- 岡山県内のスーパー等で今年11月からレジ袋の有料化が決定、今後コンビニにも参加を促す
- レジ袋を1枚5円で販売
- 県はエコバック持参率が50%上昇すると期待
- CO2削減、環境保全が目的

レジ袋のCO₂排出

- レジ袋1枚(10g)あたりの原油使用量※



日本で約34万tのレジ袋
→約144万tのCO₂排出

日本全体の排出量
→115000万t

レジ袋によるCO₂排出量は全体の0.12%しかない！

レジ袋のその他の問題点

- 自然に分解されない
- 風に飛ばされやすい
- 動物が誤飲する

レジ袋の散乱

- レジ袋は100m辺り1~2枚散乱している※。



田町駅から三田キャンパスまでで9~18枚のレジ袋が散乱している計算！

自然界の動物への被害(海外)

- イタリア(1984):レジ袋50袋を誤飲し、窒息死したクジラが海岸に打ち上げられる
→1991年よりレジ袋1枚につき約10円の課税
- イギリス(2007):多数のアホウドリやウミガメが窒息死。
→南西部のモドバリー町(人口1600人)でレジ袋完全撤廃
→イギリス全土に波及(ロンドンでは有料化)
- ドバイ(2012):ラクダなどが誤飲。
→2013年目標でレジ袋の有料化
- インド:牛による誤飲 などなど

※伊:舟木賢徳著「『レジ袋』の環境経済政策」より

英:産経新聞(2007)より

ドバイ:Think the Earth HPより

印:ロイターHPより

自然界の動物への被害(日本)

- しながわ水族館のイルカ「ラン」

水族館に来た後、毎日のようにポリ袋を吐き出す日々。

今は元気になっているイルカのラン



イルカのランが吐き出したポリ袋の写真



自然界の動物への被害(日本)

- ウミガメ

「日本ウミガメ協議会」によると、国内各地で年間約500匹ものウミガメの死骸が海岸に漂着。

小笠原諸島では、アオウミガメの死骸のうち約9割が消化器にレジ袋等のプラスチックごみが発見される。

※アオウミガメ: 絶滅危惧種に指定されている草食性のカメ



Wikimedia commonsより

※毎日新聞(2007):5月2日東京朝刊 80P より抜粋。

打ち上げられたアオウミガメの死骸



紀伊民報より

自然界の動物への被害(日本)

- シカ

奈良公園にて食べ物の匂いがあるためかレジ袋を誤食し、胃で消化されず溜まった結果、栄養不良で死亡。

5才のオスシカの胃に滞留していた5kgのビニール塊



三原賢治さんがデザインした鹿愛護ポスター(2011)



※財団法人「奈良の鹿愛護会」HPより抜粋:<http://www.naradeer.com/index.htm>

レジ袋有料化の効果を考える

有料化の狙い

レジ袋有料化



エコバッグ利用者の増加

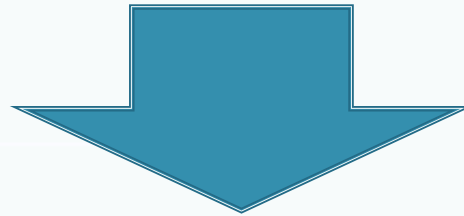


レジ袋消費量の削減

レジ袋有料化のエコバッグ推進効果

レジ袋を有料化することで

エコバッグ利用者はどの程度増加するのだろうか？



実例：

杉並区 「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進
に関する条例」

平成20年4月1日施行

杉並区のスーパーやコンビニ220店舗において
レジ袋を有料化(平均5円)

マイバッグ持参率の変化(コンビニ)

- H19年度(条例施行前)→H21年度

約90%の店舗で持参率**増加**

- H21年度→H22年度

約60%の店舗で持参率**減少**

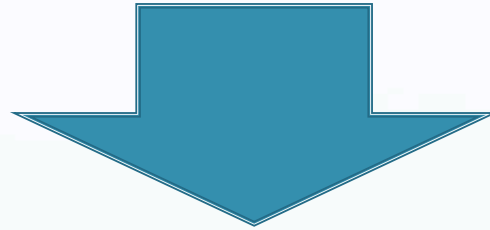
* セブンイレブン(60店舗)のマイバッグ持参率の平均

H19・・・17% H21・・・23% H22・・・22%

最初2年間6%増加、3年目1%減少

(杉並区HPより)

条例施行2年目から3年目では
マイバッグ持参者は増加傾向にない！！



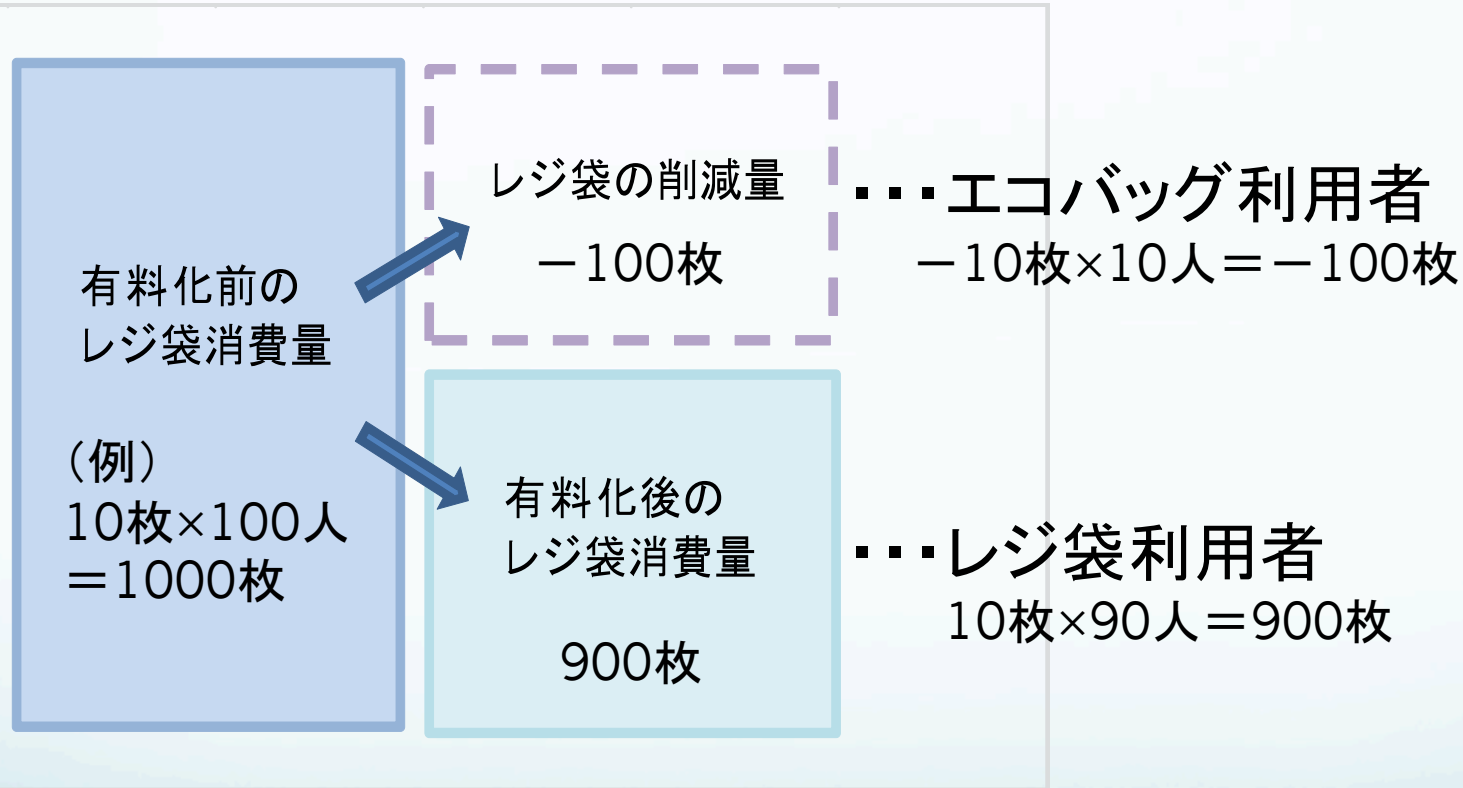
レジ袋削減量も増加しない

杉並区のレジ袋削減量(前年度との消費量の差)：

H20年度 約1000万枚(条例施行初年度)

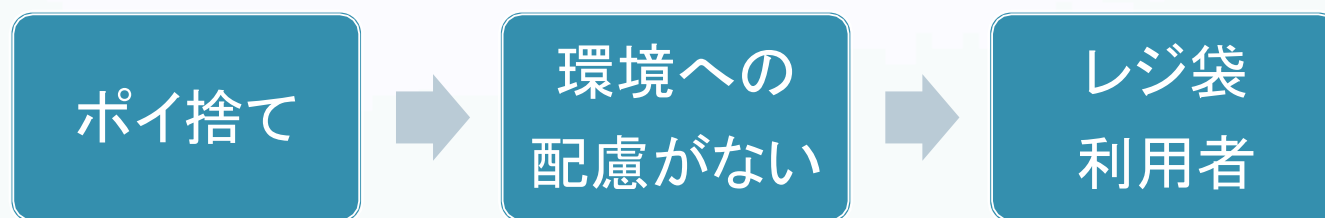
H22年度 約250万枚

マイバック利用による レジ袋消費量削減の仕組み



エコバッグの利用者増加によりレジ袋消費量は減るが、
レジ袋利用者1人当たりの消費量が減る訳ではない！！

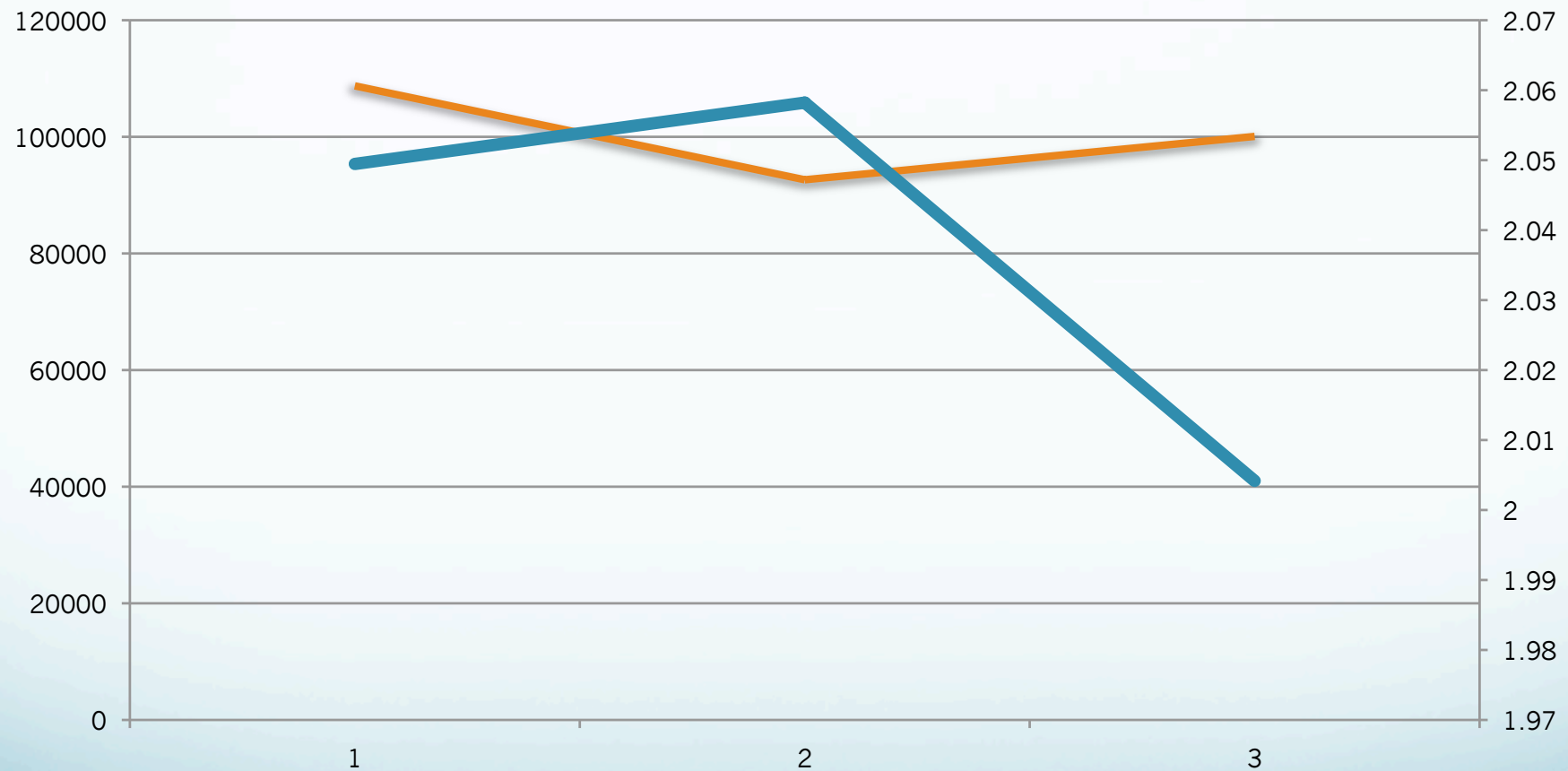
レジ袋散乱の原因:ポイ捨て等



レジ袋利用者は以前と変わらず
消費し、捨てている。

対策が取られていない！！

荒川における散乱ごみの推移



※ 特定非営利活動法人「荒川クリーンエイド」さんのデータより

レジ袋有料化の効果

エコバッグの利用者数を一定人数増加させ、
その分だけレジ袋消費量を減少させる。



不十分

⇒ その他の人（レジ袋をもらい続ける人）
への対策が必要！！

問題提起

レジ袋の
消費量削減



散乱量削減

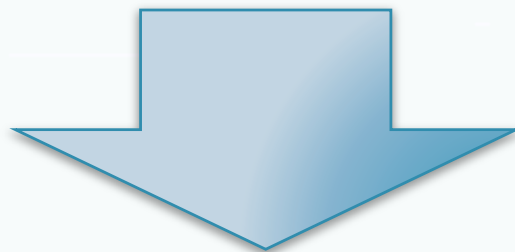


CO2排出削減

動物への被害などは減少しないのではないか？

問題提起

レジ袋の量を「減らす」だけでなく、
レジ袋を「捨てなくなる」制度が必要



3Rの視点から考えてみる

政策提言

Reduce

- 現政策(レジ袋の有料化)

Reuse

- レジ袋の再利用に対するインセンティブの付与

Recycle

- レジ袋の回収に対するインセンティブ付与

「有料化」から「回収・再利用」へ

メリット

- レジ袋の散乱量を減らす事が出来る
- 3Rの全てを含むことができる
- 消費者に「環境の為の行動」を実感させることができる

デメリット

- 「エコ」の意識のない人でないと、持ってくるメリットがない
- 古いレジ袋を嫌がる人もいる

ヨーロッパにおける実施例

イギリス大手スーパー数社が実施している「Bag for life」

通常よりも大きく、厚いレジ袋 を約20円で販売。

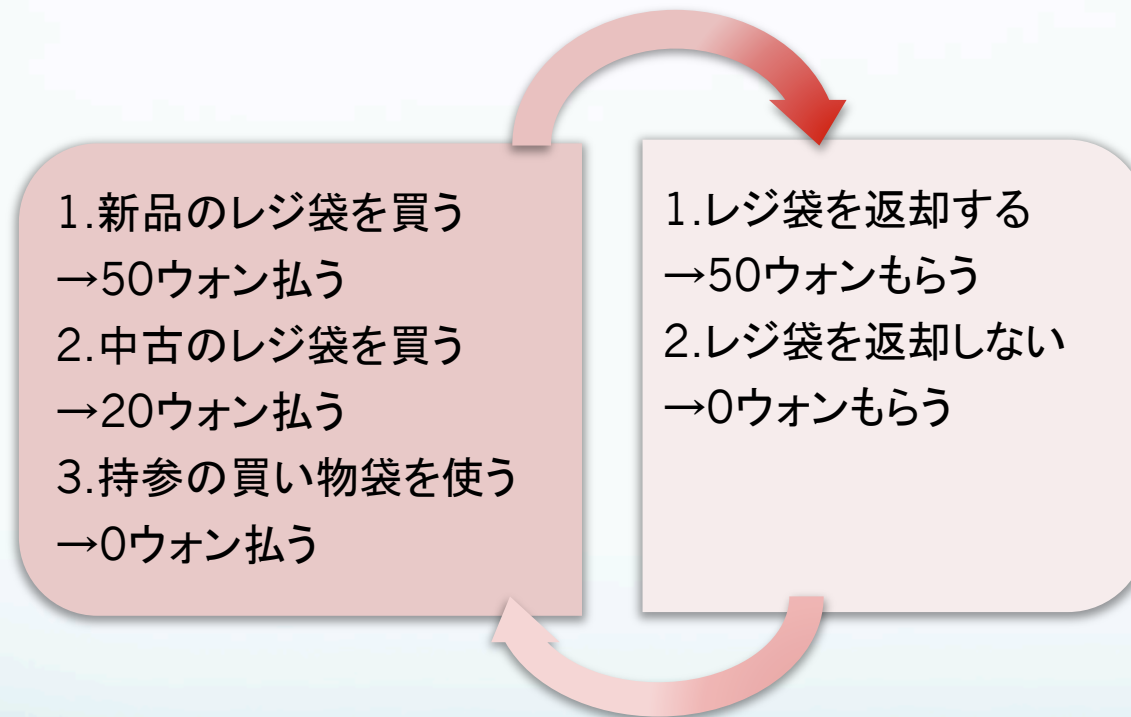
擦り切れた場合は無料で新しいものと交換できる。

フランスの「リーダー・プライズ」でもほぼ同じ制度を実施

レジ袋を購入する客は2割程に減少

韓国における実施例(1997)

- 光州ビックマート店のレジ袋返却換金制



※レジ袋は平均3回程度使用可能

1万枚以上配布→販売量:439枚 返却量:224枚

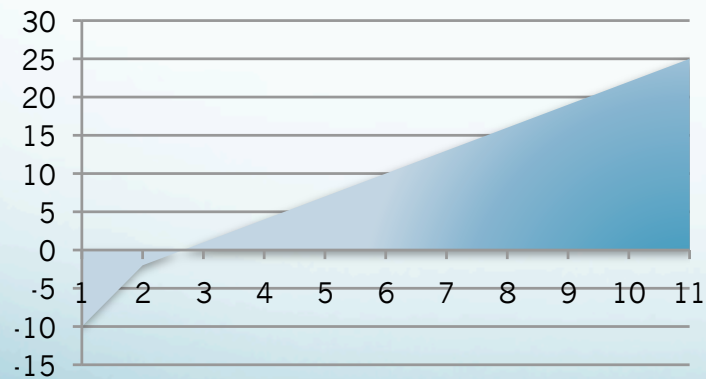
具体的な制度

新品のレジ袋を10円で販売

持って来たレジ袋を使用する度に3円割引

使えなくなってしまったレジ袋を返却すると5円貰える

3円(割引) $\times$ 2回+5円=11円 二回再利用すると得



店側のインセンティブ

この制度は店側が損をするのであれば実現不可能

レジ袋一枚の生産費用 2.5円 (※1)

レジ袋一枚のリサイクル費用 0.599円(※2)

三回買い物に来た客にかかる費用

従来： $2.5 \times 3回 = 7.5円$

制度： $2.5 + 3 \times 2回 + 5 + 0.6 - 10 = 4.1円$

結果、店側にとっても得になるといえる

※1舟木賢徳著「『レジ袋』の環境経済政策」より

※2福助工業HPより

結果

一度使ったレジ袋を持って来るだけで得をする

⇒使い終わったレジ袋に価値が生まれる

⇒人々が持ってくるようになる



ポイ捨てをする人が減る！！

考察

今回の制度は、CO2削減量でいったら本当に微々たる値

しかし今回の制度を実行する事で、

環境保護をしつつ、店側・消費者側両方が得をする。

人々が環境保護活動を行っているという自覚を持つ。

数値は勿論、人々の意識を変える事が出来る制度である。

参考文献

- 舟木賢徳著「『レジ袋』の環境経済政策」2006年7月1日リサイクル文化社より発行。
- 大橋巨泉著「やめたら」2009年2月10日角川書店より発行。
- 福助工業株式会社HP: <http://www.fukusuke-kogyo.co.jp/>
- 荒川クリーンエイドHP: <http://www.cleanaid.jp/>
- しながわ水族館HP: <http://www.aquarium.gr.jp/>
- 財団法人 奈良の鹿愛護会HP: <http://www.naradeer.com/>
- 奈良経済新聞HP: <http://nara.keizai.biz/>
- 紀伊民報HP: <http://www.agara.co.jp/>
- Think the Earth HP: <http://www.thinktheearth.net/>
- すぎなみ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/>
- ロイターHP: <http://jp.reuters.com/>
- 荒川クリーンエイドHP: <http://www.cleanaid.jp/index.html>